

市立病院利用患者数の年次別推移(7月～9月)

本年8月号でお知らせした以降の、市立病院利用患者数の状況をお知らせします。

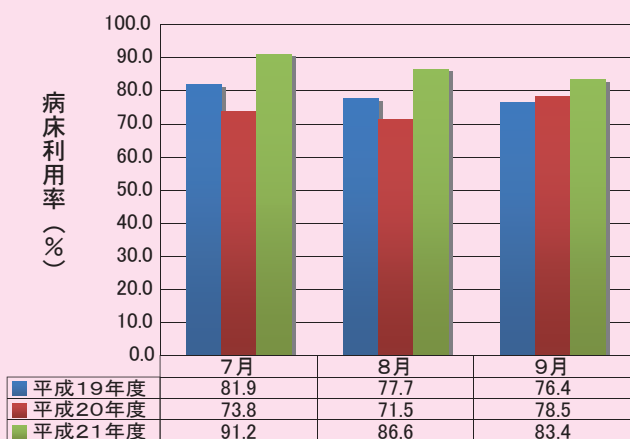
入院患者については、田沢湖病院が新しい取り組みなどから病床利用率が70%程度で推移しており、角館総合病院においても経常収支均衡の水準とされる数値81.1%(厚生労働省)を超えて推移しています。外来患者については、人口の減少など様々な要因から年々減少傾向にあります。この傾向は県内の多くの病院も同様の結果にあり課題とされているところです。

運営状況については、依然として常勤医師が不足している状況と、ぎりぎりのスタッフでの運営が行われており、特に病院経営の核である医師は、勤務環境が厳しい中、地域医療の確保に懸命に努めているのが現状です。

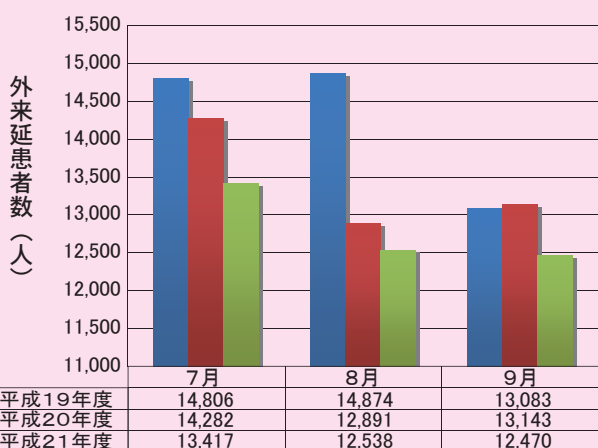
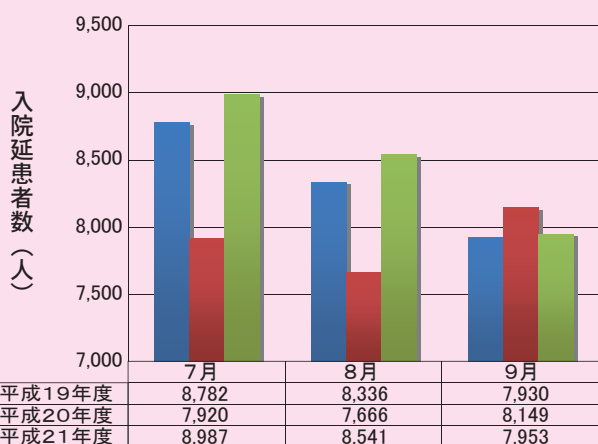
地域医療の崩壊が叫ばれて数年が経ち、国でも様々な取り組みが検討されていますが、何とかこの危機を乗り越えなければと両病院とも積極的に改革に取り組んでいます。市民の皆様も引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

病院経営改革推進室

[市立角館総合病院]



※H21.6変更 病床数346床→318床



[市立田沢湖病院]

